

第14回那須塩原市下水道審議会 議事録

日 時：平成23年3月28日（月） 13：35～14：17

場 所：那須塩原市役所 西那須野庁舎 306会議室

出席者：

委員

太田会長、金子副会長、菊地委員、坂内敏夫委員、鈴木委員、関谷委員、長谷川委員、
星野委員、松本委員、室井委員、吉田委員

欠席者4名

市

栗川市長、江連上下水道部長、舟岡下水道課長、久利生下水道課長補佐兼下水道建設係長、
稲垣普及係長、相葉管理係長、峰岸施設係長、鈴木主査、小池主査、飯田主任、北村主任

事務局（舟岡）	<p>皆さんこんにちは。定刻を少々まわりましたが、只今より、第14回下水道審議会を開催させていただきます。</p> <p>委員の皆さんにおかれましては、年度末の大変お忙しい中、また、3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震、そして福島原発の事故と、大災害が発生している中、こういった会議にご出席をいただきまして本当にありがとうございます。本日は2年間の審議をいただいた結果を市長に答申ということになっておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>それでは、本日の委員の皆様のお出席状況を申し上げます。相田委員と坂内正明委員よりは欠席のご連絡をいただいております。三本木委員、渋井委員については少々遅れております。現在の出席委員は15名中11名で、過半数以上の出席ということでございます。それでは、ここで江連上下水道部長よりご挨拶を申し上げます。</p>
事務局（江連）	<p>改めまして、委員の皆様方、こんにちは。大変お忙しい中、第14回下水道審議会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日は、先程課長の方から話がありましたが、平成21年度より審議を重ねていただきました、本市の今後の下水道事業のあり方について、市長に答申をいただくということで、お願ひをしております。</p> <p>下水道につきましては、審議の中でも出ておりますが、生活、社会資本のインフラ整備の中で、水道とともに、欠くことのできない施設と考えております。今回、未曾有の大惨事となりました東北地方太平洋沖地震においては、幸い本市の上水道・下水道、私どもの方で所管している施設においては大きな被害を受けずに済みましたが、改めてこういった上水道・下水道施設の重要性を認識したところでございます。今後とも事業の必要性というものを認識しながら、これまで2年間にわたりまして、太田会長さんを始め、委員の皆様方にこの会議の中でご意見等をいただいたものは無にすることなく、インフラ整備、とり</p>

	<p>わけ生活環境の施設、そういったものの整備に努めていきたいと考えております。</p> <p>この2年間、お忙しい中、慎重な審議をいただきましたことに対し、心より御礼を申し上げますとともに、今後とも私どもにご指導、ご協力をいただきますよう、お願いを申し上げます。御礼のご挨拶とさせていただきます。2年間、誠にありがとうございました。</p>
事務局（舟岡）	<p>続きまして、太田会長よりご挨拶をいただきまして、引き続き議事の進行をよろしく願いいたします。</p>
太田会長	<p>皆さん、改めましてこんにちは。最終回となりました。先程もご案内がありましたが、東北関東大震災という、千年に一度とも言われるような甚大な被害が生じました。当審議会を代表させていただきます、被災された地域及び方々に対して、衷心よりお悔やみとお見舞いを申し上げたいと思います。</p> <p>それでは、着席をさせていただきます、ご挨拶を申し上げたいと思います。</p> <p>いよいよ最終回ということで、本日市長さんに答申書をお渡しする運びになりました。事務局からいただいたこの答申書をご覧いただきますと、電話帳のような厚さでございます、よくここまで、皆さん真摯にご議論いただいたと、振り返りまして本当に感謝を申し上げたいと思います。活発なご議論をいただきまして、全会一致にならなかった部分もございますが、こういう形で成果を確認して市長さんにお渡しし、今後の料金関係につきましては別途審議に委ねるところでとりまとめさせていただきました。本日は、これを最終的にご確認いただいて、この後、市長さんをお迎えしてお渡しするというにさせていただきますたいと思います。</p> <p>それでは、そのようなことで、最終的なご確認をいただきたいと思います。本日予定しております議事については、1点のみでございます、市長さんにお渡しする答申書についての最終確認ということで、事務局からご説明いただきたいと思います。</p>
事務局(久利生)	<p>それでは、答申書の確認ということで、説明をさせていただきます。</p> <p>まず始めに、「答申書」ということで、皆様のお手元に資料があるかと思っております。その1枚目を開いていただきますと、本日付けで市長宛に本審議会の会長から、答申ということで出されることになっております。</p> <p>「平成21年5月11日付け那塩下第25号で諮問された『今後の下水道事業のあり方』について、別紙のとおり答申します。」ということで、1ページをお開きいただきたいと思っております。こちらの内容につきましては、前回の審議会におきまして、ご審議をいただいたものでございます。本日は概要の説明と併せまして、一部変更になった部分がございますので、その説明をさせていただきますたいと思います。</p>

まず1ページの「はじめに」ですが、こちらでは、那須塩原市下水道審議会は、市長より諮問された「今後の下水道事業のあり方」について、平成21年5月より2年間に渡り審議を進め、前半の1回から7回につきましては「下水道整備のあり方」、そして後半の2年目、8回から13回につきましては「下水道事業経営のあり方」ということで、審議をいたしました。その結果を踏まえまして、「下水道中期ビジョン（案）」としてとりまとめを行い、次のとおり結論を得たので答申する。という形になっております。

「1. 下水道整備のあり方」では、下水道事業の現状から今後取り組むべき課題を明確にした上で、本市の下水道、今後の10年間の整備目標ですとか、施策といったものを策定しております。そして、下水道中期ビジョン（案）としてこれらを取りまとめたということでございます。

「(1) 下水道中期ビジョンの位置付け」、2ページの「(2) 基本理念」、そして3ページ「(3) 基本方針」ならびに「(4) 目標設定と今後の施策」の4項目を審議いたしまして、とりまとめてございます。

続いて、5ページに移ります。「(5) 生活排水処理基本構想」が書き記されています。こちらにつきましては、中程ですが、「下水道中期ビジョンの一部を実質的に構成する生活排水処理基本構想は、経済性や地域特性、住民の意向を考慮し、より効率的な生活排水処理施設を整備するための基本構想」ですので、それらにつきまして、構想策定から既に6年が経過しており、合併後、社会情勢が大きく変化していることから、既往の構想を見直いたしました。

続きまして、6ページに移ります。「2) 検討結果」としまして、中期目標、10年後の目標でございますが、こちらにつきましては、整備人口が公共下水道で6,057人増の65,548人、浄化槽等は6,412人増の21,100人となりまして、生活排水処理人口普及率は、9.9%増の76.2%となるとしているものでございます。

「2. 下水道事業経営のあり方」といたしましては、まずもって持続可能な下水道事業経営が求められるということから、7ページにあります「(1) 下水道財政の見通し」、「(2) 下水道事業経営のあり方」では、過度な一般会計への依存を是正し、自律ある健全性の高い下水道事業経営が求められることから、基準外繰入金を解消するための財源を確保するため、下水道使用料の改定を検討する必要があるとしております。また、下水道使用料改定にあたっての考え方が示されております。

続きまして、8ページでございます。「3. 下水道中期ビジョンの実現に向けて」とありますが、こちらではPDCAサイクルを活用して、そして計画の見直しや改善も併せて行いながら進めていくということが書いてあります。

そして、「4. 下水道審議会のまとめ」として書いてございます。このまま朗

	<p>読したいと思います。</p> <p>本審議会は、「下水道整備のあり方」及び「下水道事業経営のあり方」について2年間に渡り慎重な審議を重ね、これらの審議結果を踏まえて策定されたものが「下水道中期ビジョン（案）」である。</p> <p>今後は、下水道中期ビジョン（案）にて定めた基本理念や基本方針を踏まえ、下水道をはじめとする生活排水処理施設の持つ役割を十分に発揮させるよう努めるとともに、市民の大切な財産である下水道を健全な形で次の世代へ引き継ぐため、下水道中期ビジョン（案）を決定した上で、その着実な実施を要望するものである。</p> <p>としております。その後でございますが、付属資料ということで、付属資料－1の諮問書から付属資料－7下水道中期ビジョン（案）と続くのですが、ここで前回の審議会からの変更点があります。前回審議をいただきました結果といたしまして、付属資料－6、こちらにパブリックコメントの結果をつけることといたしました。パブリックコメントの結果につきましては、その1、その2ということで、お手元にも配られていると思いますが、それをつけさせていただきました。そして、これらを最終的に1冊にとりまとめ、先程会長から皆様にお示しされたように、このような形で製本されてございます。これをこの後、市長に提出という運びになっております。かいつまんでの説明となつてしまいましたが、私からの説明は以上でございます。</p>
<p>太田会長</p>	<p>ありがとうございます。それでは、前回ご確認いただいた内容と変更のあったのは1点のみということです。それはパブリックコメントの結果ということで、これを付属資料－6として添付するというところでございます。内容面につきましては、前回ご確認いただきましたので、今回は今申し上げた変更点に限って最終確認をいただいて、その後市長さんにお渡ししたいと思います。最終回ということでもございますので、是非皆様方からこの際に一言いただきたいと思ひます。委員各位、2年間に渡り、本当に真摯なご議論をいただきました。感謝を申し上げます。ご感想があれば、是非この場で述べていただきたいと思ひます。最後に一言、ご意見をいただくことがあればいただきたいと思ひますが、よろしいですか。</p> <p>《特になし》</p> <p>それでは、副会長、ご感想など一言お願いします。</p>
<p>金子副会長</p>	<p>それでは一言、御礼を申し上げたいと思ひます。2年間に渡り皆さんに慎重な審議をいただきまして、このような立派な答申書ができあがりました。本当にありがとうございます。この下水道の答申書を基に、那須塩原市の公共下水</p>

<p>太田会長</p>	<p>道が躍進するようにと思います。大変ありがとうございました。</p> <p>それでは、皆さんに一言でも頂戴したいと思いますが、関谷委員から、一言ございますでしょうか。</p>
<p>関谷委員</p>	<p>2年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。私も思わぬところで、まったく素人でしたが、勉強させていただきました。</p> <p>つい先日の大震災、一番心配していた地震が起きました。聞くところによりますと、地盤の弱い矢板の方では、上水道がズタズタであるというような話でございます。西那須野の地盤がどんな具合になっておったのか、あるいは那須塩原市内全般の地盤がどうなっておったのかなと思うところでございますが、部長さんのお話ですと、大した被害もなく、無事に乗り切ることができたということでございます。これからも、地盤のしっかりした那須塩原市ということで、地域住民がこういった上下水道を安心して使っていけるんだと思うわけでございます。</p> <p>何にいたしましても、見えない地下に潜っている配管でございますので、これからも何とか無事に、我々が審議して弾き出した数字で、市の運営が続けられるようになっていけば大変うれしいなと思ったところでございます。ありがとうございました。</p>
<p>長谷川委員</p>	<p>主婦の立場としての参加でございますが、下水道のない塩谷町が、こういう処理をしないという資料が出たときはびっくりしました。私たちはこの新幹線に沿った那須塩原市に住んでいて、快適な生活ができて、よそからも羨まれるような都会生活ができることを念じております。本当にありがとうございました。</p>
<p>星野委員</p>	<p>2年間の中で、色んな方が色んな考えを持って論じておったということを特に興味深く思いました。また、私たちはこんなに文化的な生活をしていることに、本当にいいのかなということを、今回の大震災で知ることができました。そういう意味では、これからエコの世界を目指した形で、この下水道整備がより発展していただければありがたい。やはり文化的な生活もいいけれども、エコに向かった指針で行動していただくことを特にお願いをし、終わりにしたいと思います。ありがとうございました。</p>
<p>松本委員</p>	<p>平成21年から2年間、平成54年の頃までの長期ということで審議をいたしました。現在のような社会情勢、自然環境、今回のようなことが起きないとは限らないという風に感じます。そのときに、「こういうようなことが以前には審議されていましたが、こう改善してきた」というような時代がくるのではないかと。参考になるような審議だったような気がします。</p> <p>下水道、水道が地下に潜っておりますので、今、矢板地区で大変困っている</p>

<p>室井委員</p>	<p>ということもありますし、もし西那須野でああいうことがあったらば、下水道はどうするんだ、というような心配が感じられます。</p> <p>大変貴重なご意見を拝聴いたしまして、私も勉強になりました。今後の資料作成というような意味で、意義があったような気がします。ご苦労様でした。</p> <p>2年間に渡りまして、色々な勉強をさせていただきました。ありがとうございました。水道審議の方にも私は参加していたものですから、上水道・下水道のありがたさがこの災害でよくわかりました。また、電気についても、あまりにも便利さの上にあぐらをかいていたなど、もうちょっといろんな意味で節約をできるようにしたほうがいいのかな、とこの震災でよくわかりました。下水道とは関係ないかもしれませんが、この災害で色々なことが勉強になりましたので、またそれもひとつ、下水道を作る際に、それが勉強になると思います。ありがとうございました。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>2年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。私は公募でこの審議委員になったものですから、特別な知識がまったくなくて、いつも幼稚な質問をして、特に事務局の舟岡さんには丁寧に説明していただいて、本当にありがたく、また、勉強になったと思います。楽しい2年間でした。ありがとうございました。</p>
<p>菊地委員</p>	<p>私もまったく素人で、この審議会に参加させていただきました。むしろ学ぶことが多くて、貢献することはあまりなかったと思いますが、西那須野あるいは那須塩原市の色々な施策を決めるプロセスに参加できたということは、大変私個人としても学びの時であったと、御礼申し上げたいと思います。</p> <p>今日の答申でも、下水道が70%くらい普及していくわけですが、それ以外の汲み取り式の地域があると思うのですが、文明のバロメーターは下水道だという話がよくありますので、それがどんな風にこれから改善されていくかというのは、私にとっては関心がある問題です。市の施策の中でそれが入っていくかどうかわかりませんが、そういうことも含めて将来もっと環境のいい地域に発展していくことを願っている次第です。ありがとうございました。</p>
<p>坂内（敏）委員</p>	<p>立場上、発言しなければいけないことがあり、色々なことがございました。私個人だけの意見で言いますと、実はそんなに言うこともないんです。女房と二人暮らしですから、水道も下水道もかかりません。でもやはりこういう審議委員として集まった以上は、「それでいいや」ではやっぱりいけないと考えて、いわゆる使用者の意見も聞いておかないとということで、聞かせていただいたりして、この審議会に臨んできたわけでございます。</p> <p>あるいは色々な印象を持たれた方がいらっしゃるかと思いますが、そんなにもわかりの悪い人間でもございませぬので、もしこの後何かで顔を合わせるときがあったら、よろしく願います。ありがとうございました。</p>

鈴木委員	<p>2年間ありがとうございました。私はどちらかというと下水道はあまり考えたことがなくて、あるのが当たり前の生活をしてきたのですが、下水道を含めて、市民生活というのがこういう風に将来までずっと考えて計画を立てられて築かれているのだということがよくわかりまして、皆さんの建設的で理路整然としたご意見を聞きながら、いつも感心してばかりでした。これから、こういう世界があることをよく心に思いながら、ありがたく生活していきたいと思えます。ありがとうございました。</p>
太田会長	<p>皆さんありがとうございました。最後に一言だけ申し上げたいと思えます。</p> <p>2年間、長いようで短かったかなと思えます。前半が「下水道整備のあり方」ということで、どう下水道を整備していくかということをご審議いただきました。後半は経営の問題でございました。特に経営のところでは、先程坂内委員がおっしゃいましたが、色々地域ごとの事情がありますから、そういう点で忌憚のない闊達な議論になったのかと思えます。ですが、内容は決してただ単に値上げ反対だとかいう単純なことではなく、どうやって後世に下水道を繋いでいくのかというところで、今の生活の実態と併せて、非常に活発な議論をいただいたのだと思えます。</p> <p>ややもするとこの種の議論というのは割と事なかれの的になりやすい、あるいは安易な方向で結論が出やすいものだと思いますが、そういう意味で言えば、ある面では地域の利害を超えてご議論いただいたものだと深く感謝しておりますし、那須塩原市というのはいわゆる民度というか、住民の方々の理解度が高い地域だと、改めて感じたところでございます。</p> <p>こうした形でまとまりましたから、答申書として市長さんにお渡ししますが、そこに留まることなく、是非今後とも、皆さんの審議した結果をどう具体化していくかということにおいても、引き続きご協力をいただければと思います。2年間、どうもありがとうございました。</p>
事務局（舟岡）	<p>それでは、市長をお呼びしますので、ここで暫時休憩といたします。</p> <p>《休憩、市長入室》</p>
事務局（舟岡）	<p>それでは、再開させていただきます。ここで、太田会長より市長へ答申をいただきたいと思えます。太田会長、よろしく願いいたします。</p>
太田会長	<p>答申 平成21年5月11日付け那塩下第25号で諮問された「今後の下水道事業のあり方」について、別紙のとおり答申します。那須塩原市下水道審議会会長 太田 正、那須塩原市長 栗川 仁 様</p>
栗川市長	<p>ありがとうございました。</p>

事務局（舟岡）	<p>ここで、栗川市長より、皆様へご挨拶を申し上げます。市長、よろしくお願 いします。</p>
栗川市長	<p>皆さん、改めましてこんにちは。本日は、第14回那須塩原市下水道審議会 を開催いたしました。大変お忙しい中、そして3月11日に発生しました東北 地方太平洋沖地震と原発事故による影響の中にも関わらず、ご答申をいただき まして、誠にありがとうございます。</p> <p>東北地方では、未だに行方不明者が発見されず、また、多くの方々が避難所 での生活を強いられ、健康面と燃料や物資不足に苦しんでいると報道されてお ります。心よりお見舞いを申し上げます。本市の被害状況に つきましては、東北地方に比べればはるかに小さいものの、負傷者4名の他、 住宅の被害、道路や公園、市の建物などの損傷、その他にも保育園や学校など で多くの被害が出ました。地震が発生いたしました11日には、公民館や学校 など、避難所を9カ所設置し、576名の方々が緊急避難をされました。幸い にも、2日後の13日にはすべての避難所を閉めることができましたが、その 後に原発事故により東北方面からの方々を受け入れるために、再度17日から 健康長寿センター内に、さらに23日からはにしなすの運動公園体育館にも避 難所を設けたところでございます。また、市役所の業務におきましては、計画 停電中は窓口を閉鎖せざるを得ず、市民の皆さんには、大変ご不便をおかけし ており、ご理解とご協力のほどをお願い申し上げます。</p> <p>さて、本日の答申につきましては、一昨年5月に諮問をいたしました「今 後の下水道事業のあり方」について、施設整備と事業経営の両面から、本市の 目指す下水道の将来像とその実現のための方策を見出すよう、難題に取り組ん でいただきました。ご多用中にもかかわらず、慎重なご審議を賜り、本日ここ に答申をいただき、太田会長さんを始め、委員の皆様方には重ねて御礼を申し 上げます。</p> <p>今後は本日の答申を踏まえ、執行機関である私ども行政は、議会と市民の皆 さんのご理解を得られますよう、計画的な整備と健全運営に努め、下水道事業 の経営スタイルを確立してまいりたいと考えております。今後とも、委員の皆 様には、本市の下水道事業を始め、市政全般にわたり、ご指導とご支援を賜り ますよう、併せて益々のご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、答申にあたりまし ての御礼のご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。</p>
事務局（舟岡）	<p>続きまして、最後になりますが、太田会長よりご挨拶をお願いしたいと思 います。</p>
太田会長	<p>先程も挨拶申し上げたので、簡単にひとつだけ申し上げたいと思います。今 私が住んでいるのは栃木県の益子町なのですが、2年ほど前に越してきました、 前はどこにいたかといいますと、千葉県のパ安市なんです。浦安というと、デ</p>

事務局（舟岡）	<p>イズニールランドがある街という、非常に華やかなイメージが一般的だと思うのですが、今回の大震災で、いわゆる液状化ということで、ニュージーランドの地震でも起きたことですが、あれの何倍もの、非常に激しい液状化現象が起きました。一番何が損傷したかといいますと、もちろん電気、ガス、水道もありますが、下水道でした。下水道のマンホールが、約1mほど突き出て、キノコのようになってしまう状態です。特に浦安市というのは、市の面積の4分の3が埋め立てで造成された新しい土地でして、その部分が押しなべてそういう状態を招いておりました。</p> <p>ニュースを見るにつけ、復旧の度合いからいうと、電気やガスは割と早く、水道も比較的早いのですが、下水道の場合には、口径も大きいですし、規模が地下の埋設の中で一番大きいということもあって、しかもそれが液状化でもって途中で寸断されてしまうと、回復が非常に困難です。水は使えるけれど水が流せないという状態で、水が流せなかったら、水を使うのもなかなかこれは大変なことです。私の知っている人もまだまだ住んでいます。子どももいますので、色々と窮状は聞いたわけです。そういうことを考えますと、関谷委員もおっしゃっていましたが、目に見えない地下にあるライフライン、いわゆる生命線ですが、まさにそれが今回こういう形で奇しくも現実のものになってしまいました。</p> <p>目に見えなくて、起きてみないとわからないことというのは人間どうしても先送りしたくなるものですが、今回こういう形で2年間にわたって、那須塩原市の下水道がどうあるべきか、整備と経営両面にわたって真摯な議論を重ねていただいて、ビジョンを作り上げたわけです。今回のことも千年に一度と言われますけれども、是非これを教訓にしながら、血となり肉として、生かしていただきたい。そのためには、もちろん市長さんを始めとして行政の方々をお願いすると同時に、私も含めて、審議委員の皆さんも自らの問題として、改めてそうした方向に向けて取組みを進めていただきたいと存じます。そのためのひとつの大きな1ページになったのではないかと自負しておりますし、それは委員の皆さんのご討論の賜物だと考えております。</p> <p>簡単ではございますが、今後とも那須塩原市の下水道の発展のために尽力をお願いすることを最後に申し上げたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>大変ありがとうございました。以上を持ちまして、那須塩原市下水道審議会全ての日程を終了いたしましたので、閉会とさせていただきます。大変長い間、お世話になりました。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">【14：17終了】</p>
---------	---